建設業

奈良県

産業廃棄物等実態調査票【その1】（令和7年度実績）

調　査　票　番　号	調査票番号: パスワード:

※この調査は5年に一度のものです。

右記の＜記入注意事項＞をご確認の上、調査票に記入してください。

事業所の概要						事業内容
	事業所名					該当する番号に〇をつけてください。
	所在地	〒				1　総合工事業 2　職別工事業 3　設備工事業
	記　入　者	部署名				
		氏名		電話番号		

元請工事実績及び内容

元請工事の有無（奈良県内）

貴事業所の奈良県内での令和７年度元請工事の有無について、該当する番号を〇で囲んでください。

1．元請工事　有（奈良県内）

元請完成工事高									
奈良県内での元請完成工事高(出来高工事を含む)を記入してください。									
	千億	百億	十億	億	千万	百万	十万	万	
令和７年度									万円/年

※共同企業体（JV）による工事については、各社の持ち分を元請工事高として計上して下さい。

2．元請工事　無（奈良県内）

調査票【その１】の記入はこれで終了です。別紙、調査票【その3】をご回答の上、ご返送ください。

産業廃棄物の発生状況

令和７年度の１年間に貴事業所で産業廃棄物は発生しましたか。該当する番号を〇で囲んでください。

1．産業廃棄物が**発生した**

『産業廃棄物』に指定されている品目を別紙「廃棄物分類番号表」に示します。
なお、事務所から発生する紙ごみ、生ごみ等は、事業系の「一般廃棄物」であり、「産業廃棄物」ではありません。

裏面の、 調査票【その２】に産業廃棄物排出・処理状況等を記入願います。
また、別紙 調査票【その3】にも回答願います。

令和７年度の廃棄物を処理する際に電子マニフェストを利用しましたか。

1．利用した　　2．利用しなかった

2．産業廃棄物は**発生しなかった**

調査票【その１】の記入はこれで終了です。別紙、調査票【その3】をご回答の上、ご返送ください。

【その２】へ（裏面ページ）

【その２】へ（裏面ページ）

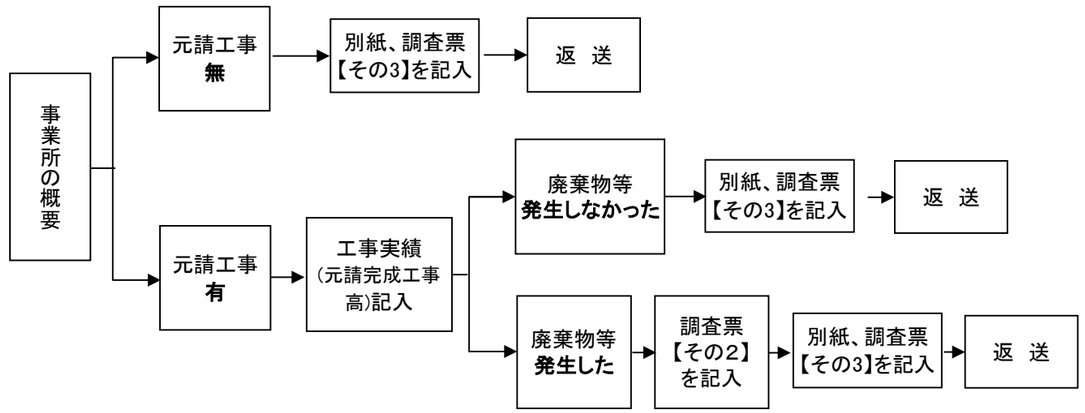
＜記入注意事項＞

1．本調査は、事業活動によって発生する産業廃棄物、有償あるいは無償で引渡している副産物の全てが対象となります。

2．本調査の対象工事は、令和７年度（令和７年４月１日～令和８年３月31日）の１年間に奈良県内で施工した全ての元請工事（出来高工事を含む）です。

3．調査票（その２）には、貴社が**奈良県内**で施工した全ての元請工事（出来高工事含む）から発生する産業廃棄物、副産物について記入してください。
共同企業体（J.V）による工事については、分担施工方式では各社持ち分の元請工事高と発生廃棄物等を記入し、共同施工方式では貴社が代表会社の場合のみ、元請完成工事高と発生廃棄物等を一括記入してください。

4．下記の提出フローに従い記入し、ご返送下さい。元請工事のない場合、また、廃棄物等の発生がない場合も、下記の提出フローに従い、ご回答の上、ご返送ください。



産業廃棄物等実態調査票【その2】

＜令和7年度実績＞

●別紙、「調査票の記入要領・記入例」、「廃棄物分類番号表」を参考に記入してください。
●自社で発生した副産物（産業廃棄物、有償・無償引渡物）全てが対象となります。再生利用、売却をしている場合も記入してください。

①事業所で発生した廃棄物の名称
貴事業所で発生した廃棄物の名称を記入して下さい。
（別紙、「廃棄物分類番号表」に示した具体例を参照）
※同じ廃棄物で処理・処分の方法が異なる場合や、処理・処分先又は再生利用先が異なる場合は、複数行に分けて記入してください（別紙 記入例参照）。

②廃棄物の分類番号
別紙、「廃棄物分類番号表」から該当する４ケタの番号を記入してください。

③年間の発生量（中間処理する前の量）
各行ごとに１年間の発生量を、焼却や脱水などの中間処理をする前の量で記入してください。なお、単位は該当するものを選び、○で囲んでください。

④自社での中間処理方法
工事現場又は自社で中間処理された場合は、該当する処理方法の記号を下欄の「中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入してください。

⑤中間処理後の量
中間処理後の残さ量を記入して下さい。
なお、単位は該当するものを選び、○で囲んでください。

⑥処理・処分の方法
発生（自社で中間処理した場合は、中間処理後の廃棄物）した廃棄物の処理・処分方法を下欄の「処理・処分方法コード表」から選んで、その記号を記入してください。

⑦処理・処分先又は再生利用先の名称等
処理・処分（⑥に該当する）等を行った先の名称を記入してください。

⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地
処理・処分（⑥に該当する）等を行った処理・処分施設のある所在地を記入してください。

※マニフェスト伝票を参考にされる場合、「処分受託者（処分業者）」欄に記載の「氏名又は名称」を⑦に、「運搬先の事業場(処分業者の処理施設)」欄に記載の「所在地」を⑧に記入してください。

⑨委託中間処理の方法
⑥の「処理・処分の方法」で「U1」と回答された場合（中間処理を委託）は、委託先で中間処理された内容に該当する処理方法の番号を下欄の「委託中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入してください。

⑩委託中間処理後の再生利用・処分の方法
委託先で中間処理された後の廃棄物の処理方法に該当する番号を下記から選んで、その記号を○で囲んでください。

１．再生利用・リサイクルしている。
２．埋立処分している。
３．一部再生利用、一部埋立処分している。

⑪資源化の用途
⑥の「処理・処分の方法」で「V1,W1,X1,R6」又は前問⑩で「１」か「３」と回答された場合、下欄の「資源化用途コード表」から該当する番号を記入してください。

※資源化用途が１つ以上ある時は、３つまで記入してください。

		工事現場又は自社で発生した廃棄物等の発生量				工事現場又は自社での中間処理				自社処分・自社再利用、委託処理			委託中間処理		自社・委託での資源化
区分		①廃棄物の名称	②分類番号	③年間発生量		④方法番号	⑤中間処理後量			⑥処理・処分の方法	⑦処理・処分先又は再生利用先の名称	⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地	⑨方法番号	⑩処理後の処分方法	⑪資源化用途
F2	行番			百万 十万 万 千 百 十 一 小数点以下	単位	1次処理 2次処理 3次処理	百万 十万 万 千 百 十 一 小数点以下	単位					1次処理 2次処理 3次処理		
記入欄	1				kg t m3 リットル			kg t m3 リットル				都道府県 市区町村		1・2・3	
	2				kg t m3 リットル			kg t m3 リットル				都道府県 市区町村		1・2・3	
	3				kg t m3 リットル			kg t m3 リットル				都道府県 市区町村		1・2・3	
	4				kg t m3 リットル			kg t m3 リットル				都道府県 市区町村		1・2・3	
	5				kg t m3 リットル			kg t m3 リットル				都道府県 市区町村		1・2・3	
	6				kg t m3 リットル			kg t m3 リットル				都道府県 市区町村		1・2・3	
	7				kg t m3 リットル			kg t m3 リットル				都道府県 市区町村		1・2・3	
	8				kg t m3 リットル			kg t m3 リットル				都道府県 市区町村		1・2・3	
	9				kg t m3 リットル			kg t m3 リットル				都道府県 市区町村		1・2・3	
	10				kg t m3 リットル			kg t m3 リットル				都道府県 市区町村		1・2・3	
	11				kg t m3 リットル			kg t m3 リットル				都道府県 市区町村		1・2・3	
	12				kg t m3 リットル			kg t m3 リットル				都道府県 市区町村		1・2・3	
	13				kg t m3 リットル			kg t m3 リットル				都道府県 市区町村		1・2・3	
	14				kg t m3 リットル			kg t m3 リットル				都道府県 市区町村		1・2・3	
	15				kg t m3 リットル			kg t m3 リットル				都道府県 市区町村		1・2・3	

④中間処理方法コード表

Ａ：焼却
Ｂ：脱水
Ｃ：天日乾燥
Ｄ：機械乾燥
Ｅ：油水分離
Ｆ：中和
Ｇ：破砕
Ｈ：分級
Ｉ：圧縮
Ｊ：溶融
Ｋ：切断
Ｌ：焼成
Ｍ：堆肥化
Ｎ：銀回収
Ｏ：ｺﾝｸﾘｰﾄ 固型化
Ｐ：乾熱滅菌
Ｑ：煮沸
Ｒ：ｵｰﾄｸﾚｰﾌﾞ
Ｓ：薬物消毒
Ｖ：濃縮
Ｗ：油化
Ｘ：選別
Ｙ：固形燃料化
ａ：造粒固化・混錬固化
ｂ：溶融固化
ｃ：減容固化
ｄ：生物処理
Ｚ：その他

具体的に

⑥処理・処分方法コード表

＜自己処理＞
Ｗ１：売却（利益があった）した。
Ｖ１：自社（または自社他工場）で再利用した。
Ｖ２：売却できないものを自社で再利用した。
Ｑ１：自社（または自社他工場）の処分場で埋立処分した。
Ｚ１：自社で保管している。

＜産業廃棄物処理業者等へ委託処理＞
Ｕ１：処理業者に中間処理を委託した（資源化・リサイクルを含む）。
Ｘ１：廃品回収（資源）業者、あるいは納入業者、関連企業等で再生処理をした。
Ｓ１：処理業者の処分場で中間処理をせず、直接埋立処理した。

＜市町村へ委託処理＞
Ｒ１：市町村等が設置する一般廃棄物処分場で埋立した。
Ｒ５：市町村の清掃工場で焼却等の中間処理をした。
（ごみ収集を含む）
Ｒ６：市町村の清掃工場でリサイクルした。

＜その他＞
Ｚ９：その他

具体的に

⑨委託中間処理方法コード表

Ａ：焼却
Ｂ：脱水
Ｃ：天日乾燥
Ｄ：機械乾燥
Ｅ：油水分離
Ｆ：中和
Ｇ：破砕
Ｈ：分級
Ｉ：圧縮
Ｊ：溶融
Ｋ：切断
Ｌ：焼成
Ｍ：堆肥化
Ｎ：銀回収
Ｏ：ｺﾝｸﾘｰﾄ 固型化
Ｐ：乾熱滅菌
Ｑ：煮沸
Ｒ：ｵｰﾄｸﾚｰﾌﾞ
Ｓ：薬物消毒
Ｖ：濃縮
Ｔ：金属(鉄)回収
Ｕ：非鉄金属回収
Ｗ：油化
Ｘ：選別
Ｙ：固形燃料化
ａ：造粒固化・混錬固化
ｂ：溶融固化
ｃ：減容固化
ｄ：生物処理
Ｚ：その他

具体的に

⑪資源化用途コード表

１０：鉄鋼原料
２０：非鉄金属等原材料
３０：燃料
３１：木炭
４１：飼料
４２：肥料
４３：土壌改良材
５０：土木・建設資材
５１：再生木材・合板
５２：再生骨材・再生路盤材
６０：パルプ・紙原材料
７０：ガラス原材料
８０：プラスチック原材料
８１：再生タイヤ
８２：塩化鉄・硫酸鉄原料
８３：酸・アルカリ
９０：セメント原材料
９１：再生油・再生溶剤
９２：中和剤
９３：コークス炉原料・高炉還元剤・ガス化
９８：その他

10～93に該当するものがない場合、⑪の枠中に具体的な用途を直接記入してください。

注）行が不足する場合は、調査票をコピーして記入してください。なお、調査票は奈良県のホームページ(https://www.pref.nara.jp/item/255594.htm)よりダウンロードできますので、御活用ください。